

平成26年度 九文歯科衛生士学院自己評価（歯科衛生科）

学校教育基本方針 (教育理念)	歯科保健指導・歯科予防処置・歯科診療補助を柱とした歯科衛生士の資格を取得するため高度な技術と、理論に関する深遠な考察を醸成し、専門職にふさわしい強い意志と豊かな情操を養い、歯科衛生士という立場から社会に貢献しうる人間教育をめざすものである。
学校教育目標	1 自主・自律を重んじ、意欲ある学生の育成 2 地域・社会に貢献できる歯科衛生士の育成
重点努力目標	1 身なりを清潔にし、歯科衛生士としての知識と技術の醸成 2 時間を守り、何事にも積極的に取り組む行動力の定着

- (1) 評価実施基準日 中間10月1日、年度末2月2日
 (2) 評価者 本学院教員・実習指導教員
 (3) 評価基準 4：十分達成している 3：達成している
 2：あまり達成されていない 1：ほとんど達成されていない
 (4) その他 評価 年度末内の (±数字) は昨年度と比較

評価項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			前期	後期	
教育課程・学習指導	専門教科やその他の科目を効果的に取り入れ「基礎力」を育成する。	専門科目とその他の教科をバランスよく配分し、「基礎力」の育成と自主的な学習ができるよう指導を行う。	2. 8	3. 0 (±0)	レポート課題を与えて指導した。今後とも指導法の工夫が必要。
	即戦力となるような職業教育カリキュラムを編成する。	校内の実習・演習系の科目をなるべく多く配し、就職先となる病院等の職場に類似した状況で学習できるように努める。	3. 3	3. 1 (-0. 2)	患者実習の内容向上、学生実習の取り組み等の実習内容の充実を図った。実習後の考察レポートが疎かになったが、他の課題を与えることで補った。実技は再テスト等で体得するまで徹底した。
		就職先となる病院等での現場実習などを行う科目を配し、実際の仕事が体験できるように努める。	3. 1	3. 4 (+0. 1)	歯科情報誌や実習生・卒業生の情報や、実習先の資料を有効活用している。
	指導方法の工夫や企業等の人材を活用し実践的な「基礎力」を育成する。	病院等の現場で必要となる「基礎力」は暗記ではなく体得するものであるということに、生徒自ら“気づく”ように努める。	3. 0	3. 1 (-0. 3)	学年・内容によってむらがあるが、習得するまでレポート・補習を実施。デモでは、学生の意見を採り入れ、学生参加型で実施した。
本校の卒業生を含め、病院等で活躍している人に授業や講演等を行ってもらい、より実践的な「基礎力」を育成できるように努める。		3. 3	3. 4 (+0. 4)	就職支援を兼ねて、DH講演会や卒業生の講演等の機会を設定している。	

評価項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			前期	後期	
生活指導	全教職員で礼儀指導を行う。また、問題行動の予防に努める。	挨拶・礼儀及び容儀等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせるよう努める。	3. 0	3. 7 (+0. 7)	日常的に、学校生活や臨床実習等での基本的マナーの指導の徹底を図った。遅効の減少や頭髪の色は落ち着いてきた。 外部の方への接し方に課題あり。
		悩みを抱える学生の早期発見に努め、適切な教育相談を行い、問題行動等を未然に防ぐよう努める。	2. 6	3. 3 (+0. 5)	授業態度や欠席等をチェックし、学生の変化に気づくよう努力した。職員間の情報交換により早期発見に努めた。必要に応じて保護者等との情報交換を実施。
進路指導	面談や適性検査等を実施して、学生の希望にマッチングした適切なキャリアサポートを行う。	進路意識の調査・把握をし、学年に応じて、就職への動機づけを高めるための個別面談や指導に努める。	2. 5	3. 2 (+0. 2)	学年毎に保護者面談を実施。東京・福岡の求人案内、職場紹介を実施。特に、3年次には個人面談を密に行い、早期内定に努力した。
		就職活動の進め方のほかに、病院毎の人材ニーズ等を踏まえ、具体的かつ分かりやすいアドバイスに努める。	2. 5	3. 2 (±0)	卒業生の勤務病院情報を伝えている。卒業生の講演会を実施した。
		家庭との連携・協力に加え、挨拶・5S運動（躰・整理・整頓・清掃・清潔）やボランティア活動など、豊かな人間を育む教育に努める。	3. 0	3. 4 (+0. 4)	保護者との二者面談を実施した。掃除の徹底で環境美化を図った。町内清掃活動を月に1回実施。
	資格取得の指導を徹底し、就職率の向上に努める。	国家試験歯科衛生士の資格合格率100%を目指す。	3. 4	3. 9 (+0. 1)	夏休みから、放課後・土曜日等を利用し補習を実施。年間12回の模試の実施。補習は各回毎に模試を分析し、不得意分野指導を中心に行っている。
	採用情報を入手し、就職の門戸を拡大し、学生の希望に沿った歯科医院への就職率100%を目指す。	3. 6	3. 8 (+0. 4)	例年通り100%を目指して取り組んでいる。	
社会人基礎力	思考力や創造力を伸ばし、物事に主体的に取り組む力や実行力の育成を図る。	現状を分析し、目的や課題を明確にすることにより、課題解決のプロセスを作成することができる能力を育成する。	2. 5	2. 9 (+0. 5)	特に実習時に意識して取り組んでいる。
		自ら目標を設定し、周囲の協力を得ながら、失敗を恐れず、ねばり強く取り組むことができる能力を育成する。	2. 7	3. 1 (+0. 7)	実習の反省を生かした目標設定を通して指導。国家試験全員合格を目指し、全力で取り組む指導の徹底している。

評価項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			前期	後期	
社会人基礎力	コミュニケーション能力を身につけさせ、チームで働く力の育成に努める。	自分の意見を分かりやすく伝える発信力や意見を丁寧に聞く傾聴力と意見や立場の違いを理解できる能力を育成する。	2.5	3.0 (+0.4)	人の話をきちんと聞くところから指導している。年度途中からSHRを学生に任せる方法を導入し、責任感や相手の立場にたつ意識の育成に繋がった。
		服装や髪型が華美にならないよう社会のルール約束を守る力や、ストレスへの対応方法などセルフコントロール力を育成する。	3.3	3.4 (+0.8)	医療人としての意識として、容儀面は日頃から厳しく指導・理解させる指導を心掛けている
組織運営	経営方針・努力目標に沿って、その実践に努める。	明示された中長期の学校経営ビジョンを含め、経営方針・努力目標を全職員が共有し、教育実践に努める。	2.7	3.1 (+0.1)	学院長の交替で、年度始めに徹底できないところがあった。経理面では予算に応じた計画的支出を実践
		教員間の授業研究を行い、授業内容を相互評価し、教員の専門性や指導力の向上に努める。	2.4	2.8 (+0.3)	
		学校自己評価を年2回実施し、ホームページ等で発信する。	2.8	3.2 (+0.2)	自己評価の評価内容を、現状にあった内容に変更した。H25年度分のHPへのアップが遅くなった。
定員の確保に向けて学生募集に努める。	高校訪問や進路ガイダンス・ホームページ・学院便り等を活用し、教育内容や在校生・卒業生の状況説明や学校のPRに努める。	3.2	3.2 (+0.2)	HPのリニューアルが遅れ、支障を来したが、他は予定通り実施できた。現時点で、募集定員に達している。	
	受験生や保護者に分かりやすい募集要項(学校案内)を作成し、高校訪問・オープンキャンパス・進路ガイダンスに活用する。	3.5	3.7 (+0.7)	学校案内を含め、募集要項等の作成は担当者が早めの対応ができ、募集活動に十分活用できた。	
施設・設備の有効な活用と安全点検等の管理を適切に行う。	教育活動や指導は、常に安全を優先して行い、施設・設備の安全点検は月1回以上行う。	3.0	2.8 (+0.3)	予定通り実施した	
	日頃から、環境整備を心掛け、省エネ運動を推進し、水道使用量や電気使用量を必要最小限に抑えるように努める。	3.6	3.7 (-0.3)	職員の日常的な対応と、学生の協力も得ながら省エネに努めている	
	パソコンによる学生情報等の管理と校務処理を推進してデータの共有化を図り、効率的な事務作業に努める。	3.6	3.4 (-0.6)	PCのウイルスチェックも含め、情報漏洩が無いように努めている。入試事務・ガイダンス参加者情報など情報共有化をおこなった。	